

令和8年用かぼちゃ・だいこん病害虫防除基準

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

発行：J A さがえ西村山
さがえ西村山野菜振興協議会

かぼちゃ

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法〔収穫前使用日数／使用回数〕	注意事項
定植時	ネキリムシ類	1B	ダイアジノン粒剤5（4～6kg／10a）〔は種時又は定植時／2回以内〕を全面土壤混和、又は作条土壤混和する。	
	アザミウマ類	4A	アドマイヤー1粒剤〔定植時／1回〕2g／株を植穴土壤混和する。	1. 茎葉、根に薬剤が直接触れないように注意する。
生育期	疫病	UN,M3 P7	ペンコゼブ水和剤 600倍（16.6g／10ℓ）〔21日前まで／2回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	1. 排水をよくする。 2. 発病すると有効な薬剤がないため予防散布に努める。
	褐斑細菌病	M1	コサイド3000 2,000倍（5g／10ℓ）〔-／-〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	1. 魚類に強い影響を及ぼす恐れがあるので、特に注意する。 2. 収穫間際の使用は汚れを生じるので留意する。
育成期	ベと病	M5 M5,40 11	ダコニール1000 1,000倍（10mℓ／10ℓ）〔7日前まで／3回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	1. ストロビーフロアブルはおうとうに薬害があるので、飛散しないように注意する。また浸透性を高める効果のある展着剤を使用すると薬害の恐れがあるので展着剤は加用しない。 2. ストロビーフロアブルは耐性菌出現防止のため連用は避け、総使用回数は2回以内とする。 3. プロポーズ顆粒水和剤は疫病にも登録がある。
	果実斑点細菌病	M1	コサイド3000 2,000倍（5g／10ℓ）〔-／-〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	
うどんこ病	M7 M10 3 3	スコア顆粒水和剤 500倍（20g／10ℓ）〔-／-〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	1. EBI剤（トリフミン水和剤、スコア顆粒水和剤など）は耐性菌出現防止のため、総使用回数は2回以内とする。	
	アブラムシ類 〔ウリハムシ・ハダニ類〕	4A 3A 1B 1B	モスピラン顆粒水溶剤〔5g／10ℓ〕〔前日まで／2回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	1. ウリハムシの発生が多いところでは、マラソン乳剤（1,000倍）を散布する。 2. ハダニ類の発生が多いところでは、マラソン乳剤を散布する。 3. 合成ビレスロイド剤（アディオン乳剤）、スミチオン乳剤は蚕・魚類に対する毒性が特に強いので注意する。モスピラン顆粒水溶剤〔5g／10ℓ〕は蚕に対する毒性が強いので注意する。

除草剤使用基準

	薬剤名	RAC	10a当たり薬量／散布量	使用時期	使用方法	使用回数	適用雑草	特性	農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。
土壤処理剤	トレファノサイド粒剤25	3	2kg	定植前（植穴掘前）（マルチ前）	全面土壤散布	2回以内	一年生雑草	・トンネル・マルチ栽培に限る。但し、マルチをしないトンネル栽培ではガス化による薬害の恐れがあるので使用しない（気化しやすい）。 ・ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科には効果がない。	成分名 農薬名 RAC 使用回数 同一成分総使用回数 備考
	クレマート乳剤	3	200～400mℓ／100～150ℓ	定植・マルチ前（雑草発生前）	全面土壤散布	1回	一年生雑草	・ガス化しないのでトンネル・ハウス・マルチ栽培で使える	ダコニール 1000 M5 3回以内 プロポーズ顆粒水和剤 M5,40 3回以内
処理剤	バスタ液剤	10	300～500mℓ／100～150ℓ	雑草生育期：定植前又は畦間処理（収穫30日前まで）	雜草茎葉散布	2回以内	一年生雑草	・非選択性、スギナに効果高い	

だいこん

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法〔収穫前使用日数／使用回数〕	注意事項
は種前	（萎黄病）			1. 連作を避ける。 2. 抵抗性品種を栽培する。 3. 前作にライムギ、ソルゴーなどのイネ科作物を栽培すると本病の発生を軽減できる。
	ネグサレセンチュウ	1B	ネマトリンエース粒剤（15～25kg／10a）〔は種前／1回〕を全面土壤混和する。	
は種時	ネキリムシ類 タネバエ	1B	ダイアジノン粒剤5〔は種時／1回〕を10a当たり4～6kg全面土壤混和又は作条土壤混和する。	1. 薬剤を使用した場合は、間引いたものを食用にしない。 2. キスジノミハムシの多いところでは、播種時の防除を行った後、発芽後の防除を2～3回行う。 3. ダイアジノン粒剤5はキスジノミハムシにも登録がある。
	キスジノミハムシ	4A 3A	スタークル粒剤（4～6kg／10a）〔は種時／1回〕のいずれかを フォース粒剤〔4kg／10a〕〔は種時／1回〕を播溝土壤混和する。	
生は種初期	ネキリムシ類	3A	ガードベイトA（3kg／10a）〔4回以内〕株元散布する。	1. アディオン乳剤、ガードベイトAは同一成分のため、総使用回数に注意する。
發芽期	キスジノミハムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ幼虫	1B	エルサン乳剤〔1,000倍（10mℓ／10ℓ）〕〔30日前まで／2回以内〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	1. ハイマダラノメイガの防除時期は、本葉1～2葉時と間引き終了時なので、防除時期を失しないよう早めに散布する。
生育期	軟腐病	31	スターNA水和剤 1,000倍（10g／10ℓ）〔14日前まで／5回以内〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	1. キスジノミハムシなどの害虫の加害をうけた傷口から侵入するので、防除を徹底する。 2. 例年発生の多いところでは、野菜の連作を避ける。 3. 播種はできるだけ遅らせる。 4. 発病株は早期に抜き取り適切に処分する。
	ペと病	M1	Zボルドー 500倍（20g／10ℓ）〔-／-〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	1. ボルドー剤は水稻（穂ばらみ期～出穂期）に薬害が出るので、飛散しないように注意する。
育成期	アブラムシ類 （カブラハバチ）	4A	モスピラン顆粒水溶剤〔2,000倍（5g／10ℓ）〕〔14日前まで／1回〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	1. モスピラン顆粒水溶剤〔5g／10ℓ〕はキスジノミハムシ、コナガ、アオムシ、カブラハバチ、ダイコンサルハムシにも登録がある。 2. モスピラン顆粒水溶剤〔5g／10ℓ〕は蚕に対する毒性が強いので注意する。
	モザイク病		アブラムシ類の防除を徹底する。	1. 発病株は早期に抜き取り、適切に処分する。 2. 発病株に触れた手で健全株に触れない。
期	アオムシヨトウムシ	3A 30 15	トレボン乳剤 2,000倍（5mℓ／10ℓ）〔21日前まで／3回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。 プロフレアSC 2,000倍（5mℓ／10ℓ）〔前日まで／3回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。 アタプロン乳剤 2,000倍（5mℓ／10ℓ）〔14日前まで／3回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	1. 若令幼虫時に散布する。 2. 葉の裏にも十分散布する。 3. 合成ビレスロイド剤（トレボン乳剤）は蚕・魚類に対する毒性が特に強いので注意する。また、抵抗性出現防止のため使用回数を2回以内とする。 4. プロフレアSC、アタプロン乳剤はキスジノミハムシにも登録がある。
	コナガ	28 UN	フェニックス顆粒水和剤 2,000倍（5g／10ℓ）〔7日前まで／2回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。 プレオフロアブル 1,000倍（10mℓ／10ℓ）〔14日前まで／2回以内〕のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	1. 若令幼虫時に散布する。 2. 葉の裏にも十分散布する。 3. プレオフロアブルは、アオムシ、ヨトウムシにも登録がある。

除草剤使用基準

	薬剤名	RAC	10a当たり薬量／散布量	使用時期	使用方法	使用回数	適用雑草	特性
土壤処理剤	トレファノサイド乳剤	3	150～200mℓ／100ℓ	は種直後（露地栽培で登録）	全面土壤散布	1回	一年生雑草	・トンネル・ハウス栽培ではガス化による薬害の恐れがあるので使用しない（気化しやすい） ・ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科には効果がない。
	ラッソー乳剤	15	150mℓ／100ℓ	は種直後	全面土壤散布	1回	一年生雑草	・イネ科、カヤツリグサ科に効果高い ・砂壌土では使用しない。
茎葉処理剤	ナブ乳剤	1	150～200mℓ／100～150ℓ	雑草生育期（イネ科雑草3～5葉期）（収穫14日前まで）	雜草茎葉散布 又は全面散布	1回	一年生イネ科雑草	・イネ科作物には薬害があるので注意する。 ・速効性で枯死するまでに7～10日必要 ・スズメノカタビラには効果がない。
	バスタ液剤	10	300～500mℓ／100～150ℓ	雑草生育期：は種前又は畦間処理（収穫45日前まで）	雜草茎葉散布	2回以内	一年生雑草	・非選択性、スギナに効果高い
ワニサイドP乳剤	ワニサイドP乳剤	1	50～100mℓ／70～100ℓ	雑草生育期（イネ科雑草3～5葉期）（収穫45日前まで）	雜草茎葉散布 又は全面散布	1回	一年生イネ科雑草	・イネ科作物には薬害があるので注意する。 ・スズメノカタビラには効果がない。
	ラウンドアップマックスロード	9	200～500mℓ／50～100ℓ	雑草生育期（耕起前又はは種前まで） 雑草生育期：畦間処理（収穫5日前まで）	雜草茎葉散布	2回以内	一年生雑草	・非選択性 ・吸収移行型除草剤